



林業体験をする小学生

森から学ぶESD (持続可能な開発のための教育)の実践

イベントの
延べ参加人数

431人

イベントの参加者の
満足度(自然体験教室)

99%

活動の全体目標に
対する達成度

75%

課題

参加者が自然の素晴らしさに感動し、普段の生活の中で、自然や環境を大切に作る行動が取れるようになり、野外活動に必要なスキルを一つ以上身につける。

活動内容

新たな自然体験活動の場として開発を始めた茨城県高萩市のキャンプフィールドを使って、大学生年代の青年113人を対象に、子供たちにさらにより良いプログラムが提供できるよう、フィールドの開拓と森づくりを目的とした2泊3日のワークキャンプを9月17日～19日に実施し、高萩市内の小学生318人を対象に、学校の授業の一環として、11月に自然体験教室「しげんとあそぼダイキャンプ」を6回開催した。



青年によるフィールド整備
(階段作り)

今後の課題

- 小学生の参加人数を増やすこと。次年度は8回開催予定
- 様々な団体の参加を促進し次年度は協働で事業を実施すること。そして、今後は、このフィールドで様々な体験と学びの場となるように開発していくこと。

成果と工夫したポイント



成果

参加小学生の99%が体験活動に満足し、74%が今後の生活に役立つ学びがあったと回答。青年のワークキャンプでは、階段(12か所)、看板(4か所)、橋などの設置、ハイキングコースができた。

工夫

- ・市教育委員会の協力を得たこと。
- ・小学生参加者に、新たなプログラム提供と大学生年代を配置。